

品番 VEW06

お願い 施工時、使用前に検知範囲、点灯保持時間などの調整が必要です。説明書を必ずお読みください。

お客様へ 器具の施工には電気工事士の資格が必要です。必ず工事店、電器店に依頼してください。

工事店様へ 施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意

必ずお守りください

 警告

器具の取付けは、施工説明書にしたがい確実にを行う

取付に不備があると、火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。

タイル面など取付け面に凹凸がある場合は、すき間を埋める

本体パッキンと取付け面とのすき間を防水シールなどで埋めてください。

防水が不完全な場合、火災・感電のおそれがあります。

接地工事は、電気設備の技術基準にしたがって確実にを行う

接地が不完全な場合、感電のおそれがあります。

交流 100ボルト以外では使用しない

過電圧を加えると火災・感電のおそれがあります。

こんな場所に取付けない



禁止

- ・補強の無い薄い壁面 (ベニヤや石こうボード)
- ・取付パッキンより小さい取付面
- ・浴室などの湿気の多い場所
- ・燃えやすいものの近く
- ・傾斜した取付面
- ・天井面
- ・据置き

この器具は防雨型・壁面取付専用です。火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。

器具表示の指定方向以外は取付けない

指定外の取付けは、火災・落下によるけがのおそれがあります。

 注意

温度の高くなるものの上に取付けない

ガス機器やその排気筒の上に取付けないでください。火災の原因となることがあります。

他の調光器と組合せて使用しない

調光機能付壁スイッチなどの調光器と組合せて使用しないでください。火災の原因となることがあります。

調光器の取りはずしが必要です。調光器の取りはずしには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。

この器具はご使用の環境に合わせて、検知範囲、点灯保持時間などを調整する必要があります。

ご使用前に説明書をよくお読みのうえ調整してください。

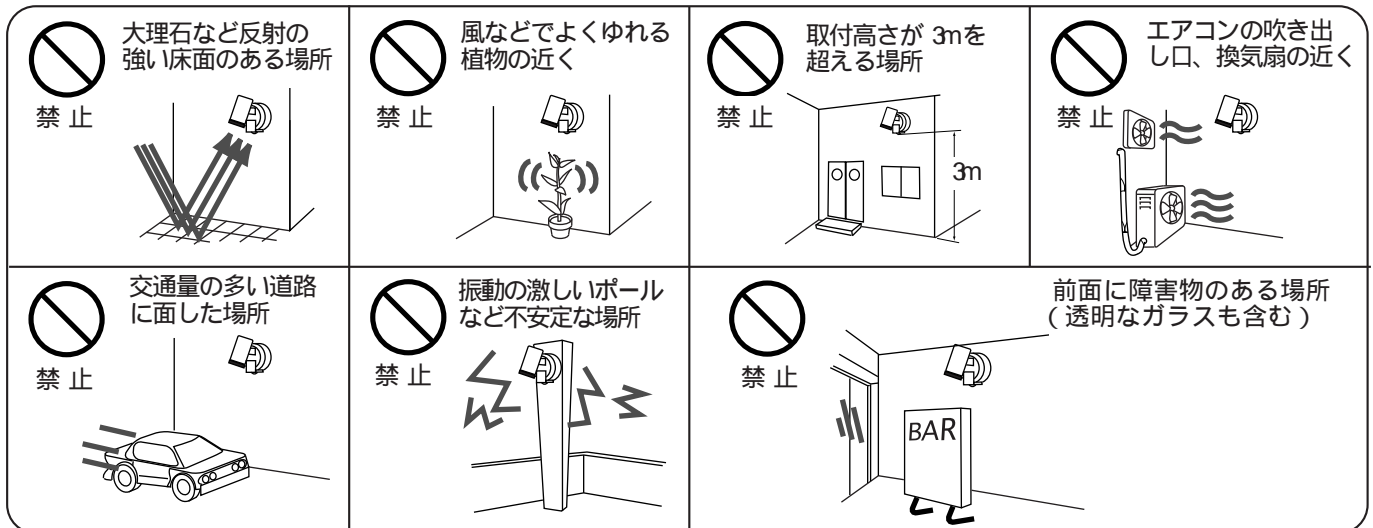
( 3ページ「各部のなまえと取り付けかた」、 4ページ「設定のしかた」を参照してください。)

取付場所について

熱線センサの検知性能をより確実にするため器具の取付位置は「設定のしかた」(4ページ)の項目をよくご覧のうえ、設定してください。

次のような場所には取付けないでください。

このセンサは、周囲の明るさと温度変化を検知しますので、人以外の温度変化により点灯したり、人が器具に近づいても点灯しない場合があります。

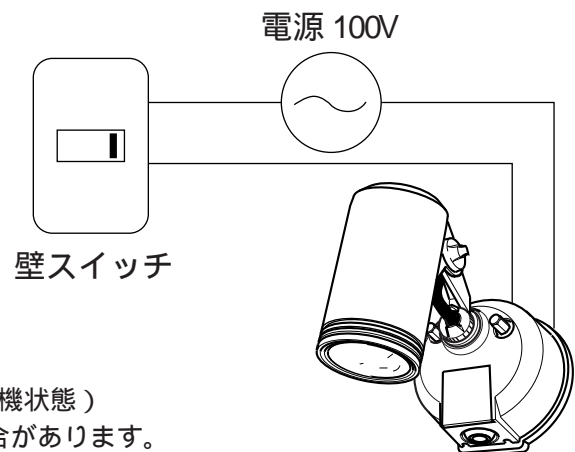


配線について

壁スイッチは併設してご使用されることをお奨めします。付属されていませんので別途ご用意ください。

壁スイッチがないと・・・
センサによる点灯時に異常が発生したとき、初期状態に戻すことができません。

壁スイッチにパイロットスイッチを使用すると、壁スイッチをONにしても照明器具が消灯状態(センサ待機状態)のときはパイロットスイッチ表示が正常に点灯しない場合があります。



各部のなまえと取り付けかた



器具の取り付けは説明書に従い確実に行う
守らないと、火災・感電・落下によるけがのおそれがあります

取り付け前の準備

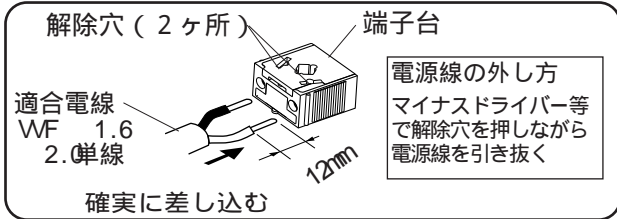
右図のように器具を分離してください。

1 付属の木ネジ (2本) で取付板を取り付ける

取り付けピッチ 66.7mm

2 端子台に電源線を接続する

接地端子ネジからD種 (第3種) 接地工事を行ってください。



3 付属の袋ナット (2個) で本体を取り付ける

4 ソケットにランプを取り付ける

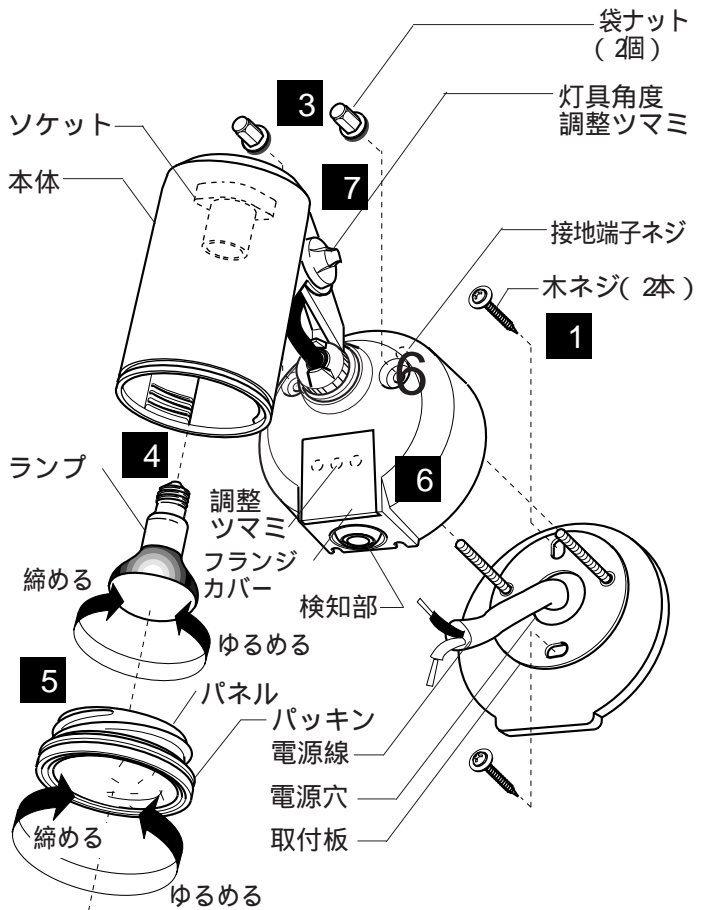
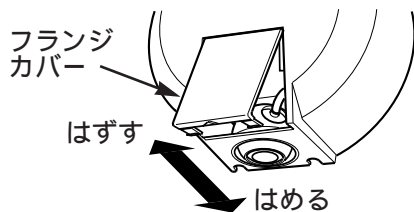
5 パネルを取り付ける

6 調整ツマミを使用状態に設定する

フランジカバーを外してください。

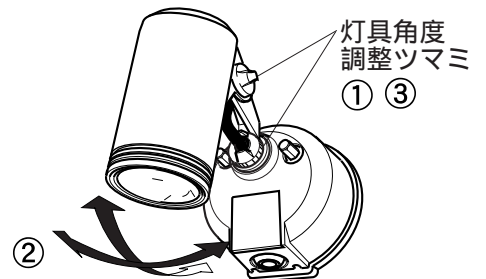
「設定のしかた」(4ページ)を参照して取付場所に
応じて調整してください。
フランジカバーは必ず取り付けて使用してください。
フランジカバーを外したままで使用すると水が侵入
し、感電・故障の原因となります。

フランジカバーの取り付けかた

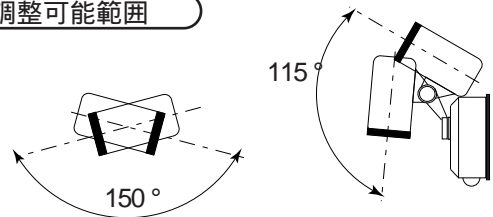


7 照射方向を設定する

- ① 灯具角度調整ツマミをゆるめる。
- ② 照射方向にむける。
- ③ 灯具角度調整ツマミを締める。



調整可能範囲



設定のしかた

⚠ 器具の取り付けは説明書に従い確実に守らないと、火災・感電・落下によるけがのおそれがあります

取り付け前の準備

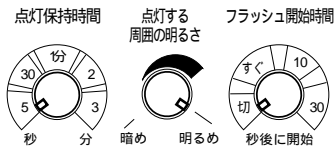
壁スイッチがOFFになっていることを確認してください。
検知範囲の設定は昼間に行うことができます。

1 フランジカバーをはずす

「各部のなまえと取り付けかた」(3ページ)を参照して本体カバーを外してください。

2 検知範囲を設定する

① 調整ツマミの設定を変更する

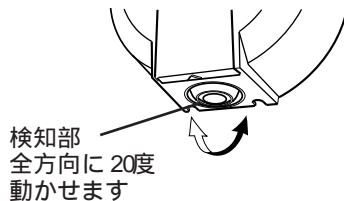


点灯保持時間を「5秒」にする
点灯する周囲の明るさを「明るめ」(右いっぱい)にする
フラッシュ開始時間を「切」にする

② 壁スイッチをONにし、検知範囲の外に出て待ち、約40秒後に消灯することを確認する

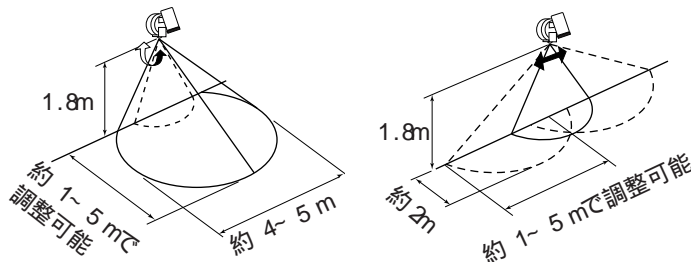
③ 検知範囲を調整する

検知部を動かして現場に合った検知範囲を設定してください。



検知範囲の目安

取付高さが1.8m(標準)~3mの間では検知範囲は変わりません。



前後に可動させた場合

左右に可動させた場合

取り付け時のご注意

本センサは検知範囲内の温度変化を検知するため、人以外の熱源(動物、車等)が移動したときも検知する場合があります。
検知範囲内に人がいても静止している場合は検知できません。
検知範囲は気温、服装、人の移動速度、進入方向、検知物の熱量、器具の取付高さ、取付面の傾きなどにより多少変化します。
器具に向かってまっすぐ接近した場合は検知しにくくなります。

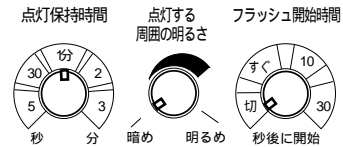
3 壁スイッチをOFFにする

4 調整ツマミを使用状態に設定する

この器具は3つの使い方が選べます
取扱説明書の「この器具の3つの使いかた」について(3ページ)を参照し、設定を行ってください。

設定例

暗くなって人が近づいた時だけ点灯させる場合



5 フランジカバーを取り付ける

「各部のなまえと取り付けかた」(3ページ)を参照して本体カバーを外してください。

6 壁スイッチをONにする